

第 1 回量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会

The 1st Meeting on Comprehensive Integration of Theoretical, Experimental and Data Sciences for Ceramics

開催日時 2018 年 3 月 15 日(木) 9:00~12:00

主催団体名 量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会

概要 開催内容 第 1 回となる量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会では、データ科学のはしりとも言えるガラスの構造モデリングツールである逆モンテカルロ(RMC)をテーマにとりあげます。近年では結晶にも適用されている本手法について、その基礎となる非晶質回折、RMC のソフトと適用例、そして、それらを用いた研究成果について 5 名の先生方による講演会を企画しました。この講演会により、RMC がより普及し、セラミックス材料の構造・物性研究の更なる発展の一助となることを期待します。

【招待講演】

「Networks under pressure」(バース大学 Phillips S. Salmon 教授)

「RMC_POT — a Reverse Monte Carlo software tool aiming at structural studies of molecular liquids」(ハンガリー科学院 László Pusztai 博士)

「RMCProfile: Local structure of crystalline to amorphous materials」(オークリッジ国立研究所 Matthew G. Tucker 博士)

「Modification of phosphate network in binary phosphate glass」(京都大学 小野寺 陽平博士)

「Atomic-scale disproportionation in amorphous silicon monoxide」(東北大学 平田 秋彦准教授)

参加対象者 日本セラミックス協会会員、学生会員、非会員

参加費 無料

予定参加者数 30 名

申込方法 E-mail により、交流会参加の有無も含めて下記連絡先にお申込みください。(当日参加も可)

交流会(懇親会)開催予定 有(当日夕刻、要会費)

本講演会は、JST イノベーションハブ構築支援事業 MI¹ からの支援を受けて実施されます。

連絡・問合せ

担当者:小原真司(物質・材料研究機構) T E L:0791-58-0223 E-mail: KOHARA.Shinji@nims.go.jp